

# 新刊紹介

## 水道機械電気技術者のための 「実務マニュアル・ノウハウ集」2007

### —設備技術の継承に向けて—

近年、水道事業体における若年層や技術者が減少傾向にあり、水道技術の継承が大きな課題となっています。特に設備技術は進展が著しく、設備技術の円滑な継承が求められていることから、水道機械電気技術者のための実務マニュアル・ノウハウ集を発刊いたしました。

本実務マニュアル・ノウハウ集は、設備技術者が携わる設計、工事監督、保安全管理、運転管理の各業務を効率的、円滑に進める上で必要な実務について体系的に整理しています。特に、ノウハウ集については、実務担当者が長年の経験をまとめて各業務毎に整理したノウハウを233事例挙げ、写真・図等で分かりやすく説明し、項番を付して活用しやすく編集しています。


また、参考資料には、設備管理に関する届出書類や工事監督業務のチェックリスト、保安全管理の点検日誌類等を掲載するとともに、添付のCDには、工事監督業務のチェックリストと保安全管理の点検日誌類（ワード、エクセル）を収納しており、各水道事業体が設備管理の実態に応じて加工し、活用できるものとなっております。

なお、本書は、既刊の「水道施設設計指針」、「水道維持管理指針」と連携して日常業務に活用することで、より効果的な設備管理が期待できます。

### —ノウハウ233事例の内訳—

設計の実務:86件、工事監督の実務:68件、保安全管理の実務:46件、運転管理の実務:27件、共通事項6件

### ノウハウの掲載例

項番	P-E-018	業務	設計	設備	電気
題名	指示計器類は読み取りやすい位置に取付けよ				
【解説】	指示計器や計測器類は読み取りやすいものを、読み取りやすい位置に取り付ける。				
	電気盤の盤面取付けメータの位置はJEM(日本電機工業会規格)で規定され、高さ2300mmの盤では床面より約2.1~2.2mの位置に電圧計、電流計が取付けられることになり、指示値が読み難い。このため、メータ類は独自に高さを一般仕様書等で決めておくか、承諾図で検討する必要がある。 また、盤面に取り付ける計測器等も種類によって設置場所が限定される場合、視認性の良い位置に取り付けることが重要である。				
【関連事項】	・ 配電盤等の設計は、常に点検する人のことを考えて行うことが重要である。				

(社)日本水道協会 機械・電気・計装専門委員会編集・著

発刊 平成19年3月  
定価 4,000円(税込)  
会員価格 3,200円(税込)

申込先

日本水道協会図書販売担当  
〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-9  
TEL 03 (3264) 2826  
FAX 03 (5210) 2216